

§ 1 . 社会実験の目的

大型車の高速道路料金を割り引くことにより、一般道路を利用している大型車を高速道路に誘導し、国道2号の沿道環境（騒音）問題を解決する方策を検証する。

広島都市圏を通過する国道2号では、沿道環境（騒音）の悪化が問題となっている。このため、並行する山陽自動車道の大型車の料金を割り引くことによって、とくに自動車騒音の大きい貨物車両を既存の高速道路に誘導し、国道2号の環境改善に対する有効性を検証する。

その際、高速道路料金の割引率を変えることによって、転換交通需要との関係を明らかにするとともに、それに伴う沿道環境改善への寄与度を検証する。

また、貨物車両を高速道路へより誘導するため、料金割引以外の他の方策（しかけ）を検討するとともに、料金割引率と併せて実現可能性について検証する。

なお、貨物車両の高速道路への誘導については、広島県トラック協会等の関係機関と連携し、実験参加を呼びかけるとともに、環境に配慮した高速道路利用促進の方策について検証する。



図1 - 1 実験対象地域